

平成 26 年第 5 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9月10日(11日・12日)

	質問者	質問項目 (答弁者)
1	小川 富貴	<p><u>1.リニア中央新幹線着工の影響は(企画経済部長)</u> JRリニア中央新幹線着工により生じる、今後十数年の工事期間、埋め立て土砂の処分場の問題等、市民生活に及ぶ影響をどのように捉えられているかを問う</p> <p><u>2.空き地・空き家バンク施策(建設部長)</u> 空き家、空き地バンク施策が開始されて2年が経ようとしている。この間の成果とその評価、今後の課題を問う。</p>
2	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.薬物やアルコールの害から子どもを守るために(教育長)</u> 最近、危険ドラッグを吸引した者が引き起こす交通事故が続いている。こうした薬物やアルコールが人体に及ぼす影響をしっかりと啓発していくことは、喫緊の課題である。</p> <p><u>2.難病患者への支援策は広がっているか(健康福祉部長)</u> 昨年4月から実施されている障害者総合福祉支援法で、初めて、障がい者の定義に難病患者が加えられた。難病患者への障害福祉サービスの現況と今後の施策を問う。</p> <p><u>3.認知症施策推進5ヵ年計画「オレンジプラン」はどこまで進んだか(健康福祉部参事)</u> 適切なケアや早期診断・早期対応、また地域での介護サービス充実で、認知症でも住み慣れた地域で暮らしていけるように計画された「オレンジプラン」。その進捗状況と今後の計画を問う。</p>
3	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.地域社会に寄与する公契約条例の制定を(企画経済部参事・総務部長)</u> 公契約条例を制定する自治体は、全国で11になった。最初に制定した野田市長は「地方公共団体の締結する契約が豊かで安心してくらすことができる地域社会の実現に寄与するよう貢献したい」と説明。本市の考えを問う。</p> <p><u>2.(仮称)創造のまちづくり文化芸術振興条例について(副市長・市民部長)</u> 文化創造センター運営管理計画と今年度の市文化芸術振興財団事業計画に「地域に根付く劇場として市のまちづくりに貢献する」とある。25年度から検討中の標記条例の原案作成について進捗と意味を質す。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
4	伊藤 英生 （民主ネット可児）	<p><u>1.子どもの貧困の連鎖を断ち切れ（健康福祉部長）</u> 国民生活基礎調査によると、平成24年時点で子どもの貧困率は16.3%と、6人に1人の子どもが貧困状態にあることがわかった。貧困の世代間連鎖も深刻さを増している中、子育てを重点方針に掲げる本市の対応を問う。</p>
5	川合 敏己 （誠颯会）	<p><u>1.市道10号線の踏切廃止後の課題とその対応について（建設部長）</u> 可児駅東西自由通路建設が実現した場合、駅北側に位置する今広踏切は廃止となる。この事に対し住民への説明会が行われている。そこで出された住民の意見を踏まえ、新たに対処しなければならない課題について問う。</p> <p><u>2.可児駅前子育て等空間創出事業について（企画経済部長）</u> 可児駅前の子育て等拠点施設の企画設計は、市民の皆さんと一緒にそのイメージをつくりあげていく作業であると聞いている。これまで市民や子育てに関連する方々からはどういった意見が出されているのか。</p>
6	中村 悟 （新当クラブ）	<p><u>1. KYB スタジアムオープン後の利用状況と諸問題について問う（市民部長）</u> スタジアムの現在までの利用状況と評価を問う。又、新たに見えてきた諸問題について問う。</p> <p><u>2. KYB スタジアムオープン後の周辺環境の諸問題について問う（市民部長）</u> スタジアムのオープン後の多くの市民の利用がされており、利用が開始されたことにより周辺の環境に対する諸問題が浮き彫りになってきたことについて問う。</p> <p><u>3. KYB スタジアムオープン後の運営についての諸問題について問う（市民部長）</u> スタジアムのオープン後から現在までの運営について、新たに見えてきた諸問題について問う。</p> <p><u>4. 可児駅周辺の今後の展望について問う（建設部長・企画経済部長）</u> 可児駅自由通路の建設、踏切の閉鎖等を踏まえ駅西整備の計画はどうなっているのか。 また、駅前公共用地の利用も含め今後の可児駅周辺の展望について問う。</p>
7	野呂 和久 （可児市議会公明党）	<p><u>1.生活困窮者自立支援について（健康福祉部長）</u> 社会経済環境の変化に伴い、生活困窮者に至るリスクの高い人々など、国民の生活を重層的に支えるセーフティネットの構築の為に法律「生活困窮者自立支援法」が成立した。来年4月に向け、本市の準備状況を問う。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
8	澤野 伸 (誠颯会)	1.本市の外国籍の不就学児童への対応と取り組みを問う(市長・教育長) 全国的にも問題になってきている外国籍の不就学児童の実態をどのように調査・把握しているのか。また不就学解消のための取り組みや、これまでの外国籍児童・生徒への就学支援事業の成果と今後の対応を問う。
9	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	1.本市の消費者行政について問う(企画経済部参事) 消費者教育の推進に関する法律の施行後、本市の消費者教育の取り組み、悪質電話勧誘対策及び消費生活相談員の処遇改善策について本市の見解を問う。 2.本市の高齢者施策について問う(健康福祉部参事) 本市の認知症サポーター等の養成状況、ホームページで認知症セルフチェックができる取り組み及び健康増進遊具の整備に対する見解を問う。
10	板津 博之 (誠颯会)	1.急傾斜地崩壊対策事業の進捗状況は(建設部長・総務部長) 現在、市内には土砂災害警戒区域が154箇所あり、今後豪雨による急傾斜地崩壊の危険性がある。急傾斜地崩壊対策事業の現状と今後の計画について問う。
11	山根 一男 (民主ネット可児)	1.久々利地区の景観・文化財保全は(建設部長・教育委員会事務局長・企画経済部参事) 久々利地区は可児市にとってたいへん重要な地区である。平成24年に景観形成重点地区に指定されているが、その歴史的な重要性や観光拠点としての位置づけ等今後の方向性を問う。 2.当市における地域包括ケアシステムは(健康福祉部参事) 誰もが安心して安気に住み慣れた地域で暮らしてゆくこと。これは富田市政にとっての最重要課題であると考え。このための地域包括ケアシステムの充実喫緊の課題であるがその進展具合は。
12	天羽 良明 (誠颯会)	1.女性目線で魅力あるまちづくり(企画経済部長・企画経済部参事・水道部長) 人口の現状分析と今後について 10万人を維持するために若者の職場環境の確保と同時に女性にとって魅力あるまちづくりについての考えを問う

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。